

○体育大会、新人戦が終わりました。全力で取り組んだ結果、見えてきたもの。それは、必ず次につながっていくと思います。それぞれの想いを聞いてみました。

### 「狙う方と狙われる方」

新人戦をふり返ると、苦しい試合の連続でした。一回戦の北中戦から始まり、準決勝の桜井戦は逆転サヨナラ勝ち、決勝戦の安祥戦では、特別延長にまで入ったのサヨナラ勝ちでした。接戦を負けなかったことは、僕にとって大きな自信となりました。しかし、今大会に入る前に心のどこかで、自信ではない、慢心なところがあったと思います。勝負事は、力関係に差がないのであれば、狙われるより狙う方が有利だと思います。僕は、チャレンジャー精神を忘れて受け身で試合をしていました。これからは、精神面ももっと鍛えて、次も優勝を狙います。

( 1 組 )

### 「心に残った応援コンクール」

今年の応援コンクールは団対抗でした。人数が多いため、練習初日ではすぐにまとまることができず、これで大丈夫なのかと少し心配しました。しかし、練習を重ねていくうちに桃団全員が団結し、優勝するという気持ちが高まっていったと思います。

本番では、今まで以上の力を発揮することができ、見事「優勝」という二文字を勝ち取ることができました。優勝することができたのは、1、2年生はもちろん3年生の先輩方のおかげだと思います。来年は、私たちが後輩を引っ張っていけるように頑張りたいです。

( 2 組 )

### 「次に向かって」

私は夏休みに、友梨香さんと応援団の練習を三年生の団長さんに教えてもらいながら頑張りました。全学年で練習するときも、全員で息を合わせなければいけないので、先輩方のアドバイスを聞きながら頑張りました。練習では、2年生が声が出ていなかったけれど、古畑先生の一言で本番では練習より声を出すことができたと思います。惜しくも桃団に負けてしまいましたが、黄団として最高のパフォーマンスができたので良かったです。次の合唱コンクールこそ、黄団がそれぞれの学年で優勝できるように、練習をたくさんして頑張りたいです。

( 3 組 )

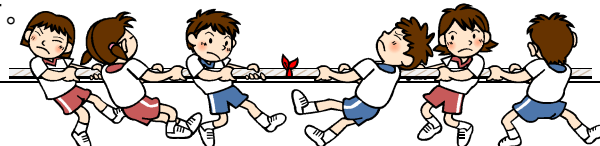
### 「自分を見つめて」

僕たちサッカー部の新人戦の結果は、残念なものでした。1回戦の相手は南中でした。1点を先制されましたが、途中で追いつくことができました。そして同点のまま終了時間になったのでPK戦になりました。しかし結果は、2-4で負けです。僕はこの試合に出場しておらず、見ていることしかできませんでした。自分が出場できないことには、納得しています。自分より上手な選手が試合に出る方が、チームにとっていいと思ったからです。でも、ずっとこのままでいたくありません。自分の長所である「走る体力」をさらに伸ばし、次の大会では試合に出たいです。さらに、チームが勝てるように活躍することを目指します。

( 4 組 )

### 「心に残ったこと」

体育大会で心に残ったことが2つあります。1つ目は応援コンクールです。僕は、旗をふる係でした。ぼくは、昨年も旗だったのでやり方はだいたいわかります。一生懸命がんばったけど、青団は負けてしまいました。来年は絶対に勝ちたいです。2つ目は長縄跳びです。一生懸命がんばって跳びました。でもたまには失敗しました。結果は1位になれなかったけど、がんばって跳んだのでよかったです。



( 7 組 )